

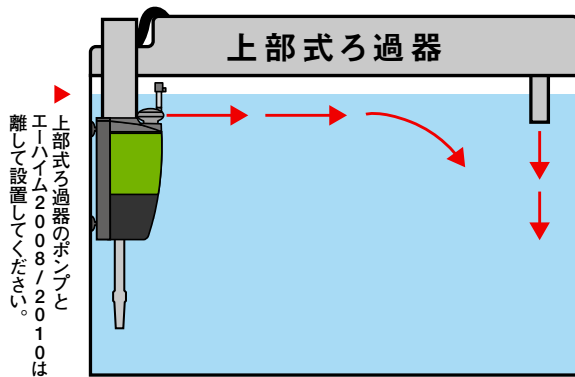
エーハイム2008/2010ワンランクアップ使用術

使い方簡単なエーハイム2008/2010は、工夫次第でワンランクアップの使用をすることもできます。

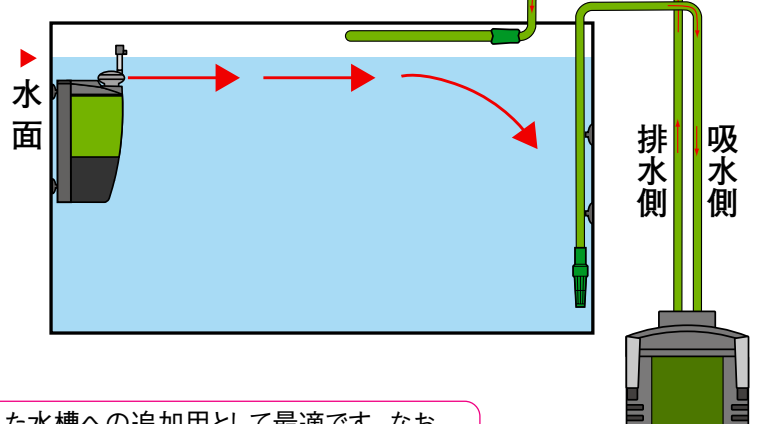
予備フィルター&水流づくり&酸素補給用として

豊富な酸素量と比較的強めの水流を好む中～小型のバルブやカラシン、海水魚などの飼育時には、メインのフィルターのほかに、エーハイム2008や2010を予備フィルター&水流づくり&酸素補給用としてご使用されることをお勧めします。エーハイム2008や2010は出水口を水面ぎりぎりにセットし、ディフューザーを「開」にして水流を「強」にしてください。エーハイム2008や2010が予備フィルターとして機能するだけでなく、水槽内に水流をつくり出し、水面を動かすことに加えてディフューザーの効果で酸素を飼育水中に溶かし込むことも促進するという、まさに「一石三鳥」の使用方法です。

【上部式ろ過器との併用】



【外部式フィルターとの併用】



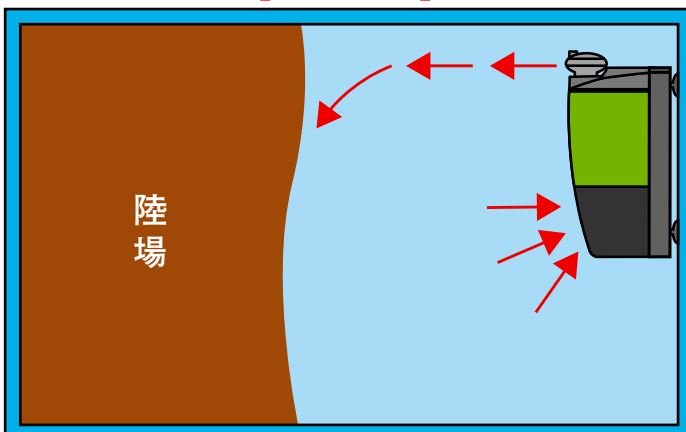
※エーハイム2008や2010は各種のメインフィルターを備えた水槽への追加用として最適です。なお、ディフューザーからの空気がメインフィルターに吸い込まれないように注意のうえセットしてください。

カメや両生類を飼育する場合

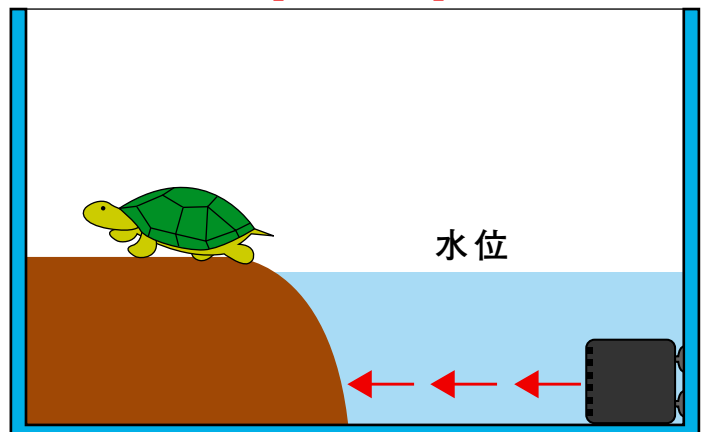
カメや両生類などの飼育時には、図のように、水場の水中にエーハイム2008や2010を真横にセットして使用することもできます。この際、空転防止のため必ずエーハイム2008や2010本体内部のエア抜きをした上で、全体が水に沈んだ状態でお使いください。また、カメや両生類は魚類に比べて排泄量が多いので、専用スポンジは早めに交換されることをお勧めします。

※2008/2010は水流が強いので陸場の砂を流してしまいそうな場合は、水流が直接当たる部分に石などを置いて砂が流れないように工夫してください。

【上面図】



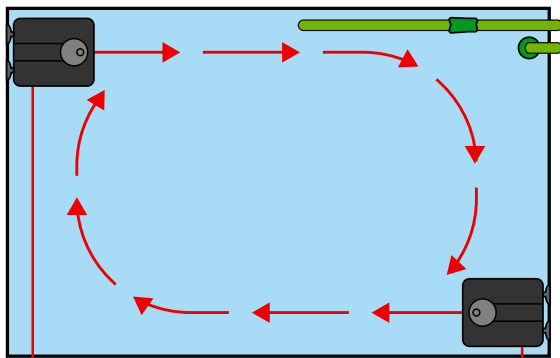
【側面図】



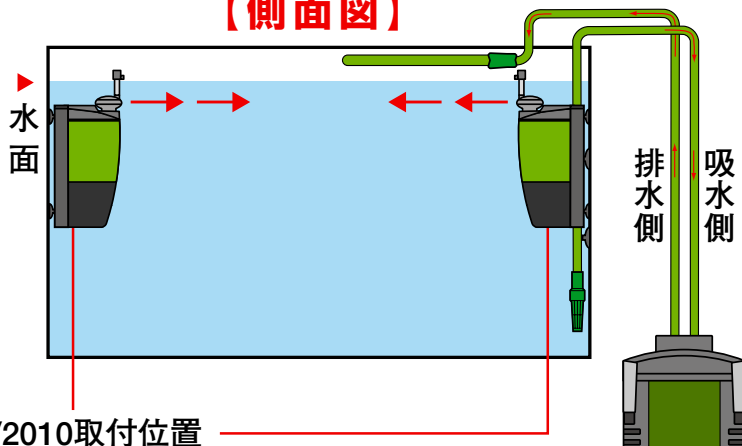
強い循環水流をつくる場合

アロワナやドラード、溪流魚など、遊泳性のため特に強い水流を好む魚種を飼育する際には、エーハイム2008/2010を水槽の左右の側面にそれぞれ1台ずつセットして、水槽内に循環水流をつくることができます。なお、水流の強弱の選択とディフューザーの使用の有無については、飼育する魚種や飼育条件に合わせて設定してください。

【上面図】



【側面図】



※ディフューザーからの空気がメインフィルターに吸い込まれないように注意のうえセットしてください。

立ち上げ直後の水槽の応急の水質維持や緊急時の予備フィルターとして

水槽全体が立ち上げ直後のためメインのフィルターにろ過バクテリアがまだ着生していない場合などには、応急対策として、エーハイム2008/2010の専用活性炭フィルタースポンジが持つ高い吸着ろ過能力を利用できます。メインのフィルターに加えてエーハイム2008/2010を水槽にセットし、専用活性炭フィルタースポンジに含まれた活性炭が常に強い吸着力を発揮できるように、3～4日に1度、専用活性炭フィルタースポンジを新品と交換してください。やがてメインのフィルターにろ過バクテリアが着生して順調なる過が始まったら、エーハイム2008/2010は外してもよいですし、そのまま使用を続けてもよいですが、使用を続ける場合は、応急対策時ほど頻繁に専用活性炭フィルタースポンジを交換する必要はなくなります（交換の目安:2週間に1度）。また、2008や2010を持っていれば、使用中のフィルターが故障した場合などの緊急用フィルターとして、水質の悪化や酸欠を最小限に防ぐことができます。

色素系魚病薬の色を除去する場合

専用活性炭フィルタースポンジは、メチレンブルーをはじめとする色素剤系魚病薬各種の色を除去するのに最適です。このような使用では専用活性炭フィルタースポンジの吸着能力が急速に低下するため、色が濃い場合には2～3日で専用活性炭フィルタースポンジを交換してください。なお、色素剤系魚病薬の色は除去できますが薬効成分は完全に除去できるわけではありません。

EHEIM